

<「知るっば!久留米」 令和3年2月11日(木) 12:30~放送分>

## 久留米市議会 ～第2回～ 「市議会議員の活動」

<ゲスト：久留米市議会 議会広報委員長 早田 耕一郎さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

2月前半は、久留米市議会をテーマに市議会と市議会議員にまつわるお話をお送りしていきます。

ゲストはこの方です。

ゲスト:久留米市議会 議会広報委員長 早田耕一郎さん(以下「早田」)

久留米市議会、議会広報委員長の早田耕一郎です。

先週に引き続き、よろしくお願いします。

坂本 よろしく申し上げます。

2回目のテーマは『市議会議員の活動』ということで、今回は市議会の役割についてお話をお伺いしましたが、今日は、市議会議員さんの仕事についてです。

まず、議員さんは様々な活動をされていると思いますので、そのことについてお話をお聞きしたいと思います。

市議会議員さんの仕事と言いましても、知っている人は知っているけど、知らない人は意外と知らないのかなと思います。

前回の復習も兼ねながら、まずは議会開会中の活動について教えてください。

早田 開会中と閉会中では、かなり活動内容が変わってきます。

議会開会中、会期の前半は、主に一般質問というものが行われます。

一般質問というのは、市の事業について執行状況や施策の将来の見通しなどについて、議員から市へ政策提言などをします。

そういうことを目的として、議員が本会議場で演壇に立って、市長、それから執行部のみなさんに質問をするというのが行われます。これが会期の前半ですね。

その後は、委員会ごとに審査をいたします。

委員会というのは、主に4つございまして、事業分野ごとにそれぞれ審議をします。

その委員会で審査した結果を各会派、すなわち議員のグループごとに持ち帰って共有し、

そこで議論をして、最終的に最後の本会議に挑むことになります。

会期中は、1日の審議が終わった後にも、他市の事例や法律の構造を参考にして、

議論に備えて研究を行っております。

坂本 1日ずっと忙しいですね。やはり、議会が終わったらそれで終わり、というわけではないですね。

早田 そうですね。やっぱり市職員のみなさんと議論をしないといけないので、それ相応の準備が必要かなと考えて活動しています。

坂本 議会開会中は、議案を審議されたり、内容を詳しく勉強されたりということですが、議会って通常は年4回で、去年は臨時議会もありましたけども、議会がない期間の方が多いわけですね。  
議会がない時って、みなさんどんな活動をなさっておられるのですか？

早田 私もそうなのですが、多くの議員さんに聞くと「議会がない時の方が忙しかばい!」というお話をよくうかがいます。  
というのも、議会がないときは、基本的に市民のみなさまから色々な要望やお話を伺います。それから、やっぱり私たち議員というのは、市職員の方と議論をしなければならないのですが、基本的に職員さんはその道のプロでいらっしゃるんですね。  
色々な部署に分かれていますから、その部署について詳しく知っていらっしゃると思うのですが、議員は全ての分野について議論をしないといけないので、やっぱり休会中にしっかり勉強しないと、市の職員さんと渡り合うことができません。  
私は、多くの議員さんと同様に、この期間に勉強をして議論に備えるという活動をしております。また、市民のみなさんからいただいた陳情を市に要望する事もありますし、それを県や国に持っていくこともあります。  
そういった色々な活動を休会中はしております。

坂本 やはり、休会中もお忙しいですね。  
議員さんは、オールマイティーに知識を付けていないといけないですね。  
休会中も勉強されたり、市民のみなさんとお会いになったりして意見や要望をお聞きになって、議会に臨んでおられるということですね。  
そうやってきますと、必然的に多くの人と会わないといけなくなるわけですが、新型コロナウイルスの感染が拡大しておりますので、そういった活動にも制限がかかってくるのかなと思うのですが、どうですか？

早田 そうですね。もう大変制限がかかった中での活動でしたね。  
多くの議員の活動は、膝を突き合わせて市民のみなさんと話し合うことがベースだと思うのですが、この状況だと、その膝を突き合わせて話し合う行為そのものが、なかなか推奨されにくい状況で、やっぱり議員としての活動の大きな変化を余儀なくさせられたというのが感想ですね。

坂本 やっぱり、デジタルとかリモートとかそういう話になってくるわけですか？

早田 そうですね。私の話をしますと、私は主にSNSを使って市政の情報を発信したり、逆にSNSを使って市民のみなさまから、生活や事業の実態というのを伺ったりしていました。流行りのZoomを用いた座談会とかも行って、市民のみなさんと意見交換をしていましたね。

坂本 他の議員さんはどうですか？

早田 他の議員にも話を色々聞いたのですが、電話する回数をどーんと増やして情報を収集したり、情報をまとめたものポスティングしたりする活動をメインにされていたという話を聞きますね。特にポスティングをする時も接触を避けるために、早朝とか深夜に行っていらっしゃるという話を聞いております。

坂本 コロナ禍でも議員活動は休まず続けていくということで、大変ご苦勞があったのかなと思います。それでは、最後に久留米市議会議員として、久留米市民のみなさんに、是非、一言メッセージをお願いします。

早田 市民のみなさまをはじめ、事業者のみなさま、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、外出自粛や休業要請など様々な分野の方にご協力をいただきまして、本当に感謝を申し上げます。また、長い間、医療や福祉の現場で働いていらっしゃる方々に、心からの御礼を申し上げたいと思います。久留米市議会としまして、永田議長を中心に、市民のみなさまの安全で安心な暮らしを一刻も早く取り戻していただくこと、それから、新型コロナウイルス感染の影響を受けたみなさまを支援することについて、しっかり市と連携して取り組んでまいりますので、是非色々な声をお寄せいただいて、一緒に頑張るってこの難局を乗り越えていければと思います。

坂本 本日は、大変興味深いお話をありがとうございました。市議会は、どなたでも傍聴することができます。その際は、マスクの着用、手指の消毒などをお願いしています。ただ現状は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、傍聴は控えていただくようお願いしています。本会議は、インターネットでライブ中継、録画配信を行っておりますので、インターネット議会中継もぜひご活用ください。早田議員、本当にありがとうございました。次回は、久留米藩有馬家墓所をテーマにお送りしていきます。来週もよろしくお願いいたします。